

京都市立病院整備運営事業 平成26年度事業報告

1 施設建設業務の完了

京都市立病院整備運営事業は、PFI法に基づき実施し、民間事業者（株式会社SPC京都）に設計、建設、維持管理及び医療周辺業務を長期・包括的に委託することにより、効率的な病院運営と患者サービスの向上を目指している。

平成27年3月末に完了した施設建設業務では、民間病院と比較しコスト高とされる施設整備費について、次の点から経費の削減を達成した。

- (1) 設計や施工方法の自由度が確保される性能発注であったことから、民間事業者の創意工夫を存分に発揮することができた。
- (2) 事業者が設計・施工を一括で包括的に請け負ったことから、施工コストを考慮した施設設計を行うことができた。
- (3) 予算措置の制約がないため、予算の状況に応じた工期の調整の必要がなく、また、工程管理も民間企業の裁量であったことから、効率的な労働力の配分を行うことができた。
- (4) 多様な調達手段の選択が可能であったことから、資材の大量調達、計画調達を行うことができた。

2 運営・維持管理業務のモニタリング結果

PFI導入の目的である医療・患者サービスの向上や病院経営の健全化に貢献するため、協力企業が行う各運営・維持管理業務の品質やコスト等を株式会社SPC京都が適切にマネジメントできているか、モニタリングにて確認しつつ、必要な改善行動に取り組んでいる。

【平成26年度 モニタリング結果一覧】

○ 要求水準達成

事業名	備考
医療機器の保守点検業務	・実技研修の病院との合同実施等の取組を積極的に実施している。
医療ガス供給設備の保守点検業務	—
洗濯業務	・前年度の課題を克服し、病院が求める要求水準を満たすサービスの提供があった。
清掃業務	・前年度の課題を克服し、病院が求める要求水準を満たすサービスの提供があった。
診療情報管理・運用業務	—
医療支援業務	・病院から提示した追加業務への迅速な対応により、スムーズに業務が遂行された。
病院総合情報システムの運用業務	—
利便施設運営管理業務	—
健診センター運営支援業務	—
電話交換業務	—
図書室運営業務（患者用）	—

図書室運營業務（職員用）	—
施設維持管理業務（付帯施設）	—
警備業務（病院施設）	—
警備業務（付帯施設）	—

○ 概ね要求水準達成

事業名	備考
物品管理及び物流管理（SPD）業務	<ul style="list-style-type: none"> ・在庫の適正化等の適切な物品・物流管理の実施に向けた一層の取組を求める。 ・より精度の高い棚卸の実施により，病院在庫の全容把握に努めた。 ・職員との良好なコミュニケーションについて院内から高い評価を得ている。
地域医療連携部門業務	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取扱いについて取組の強化を求める。 ・地域医療フォーラムの開催に主体的に取り組んだ。
医薬品・診療材料等調達業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチマーク分析に基づく結果重視の効果的なマネジメントの強化を求める。

○ 要求水準未達事項あり

事業名	備考
全体マネジメント業務 （経営支援業務） （プロジェクトマネジメント業務） （個別業務統括業務）	<ul style="list-style-type: none"> ・個別業務について，品質管理，コスト管理及び課題改善に向けた積極的・主体的なマネジメントに課題があった。
検体検査業務	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果の報告に課題があったが，迅速な一次対応を取り，その後は的確に業務を実施している。
滅菌消毒業務	<ul style="list-style-type: none"> ・病院との連携や感染防止等について，協力企業への教育・指導の取組に課題があったが，病院機能評価受審を契機に病院と協力して積極的に取り組んだ。
食事の提供業務	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全や衛生管理等について，協力企業への教育・指導の取組に課題があった。
医療事務業務	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇や診療報酬の請求業務等について，協力企業への教育・指導の取組に課題があったが，病院機能評価受審を契機に病院と協力して積極的に取り組んだ。
施設維持管理業務（病院施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・設備点検に課題があり，病院業務に影響を与えかねない事象が発生したが，排水設備の不具合発生時には，的確な処置で早期に復旧させた。